

TAOISM

世の中は等価交換でできている

等価交換とは何か

完全に無料なものは存在しない。見えないだけで、必ず何かが交換されている。

時間 ↔ お金

労力 ↔ 対価

信用 ↔ 機会

知識 ↔ 経験

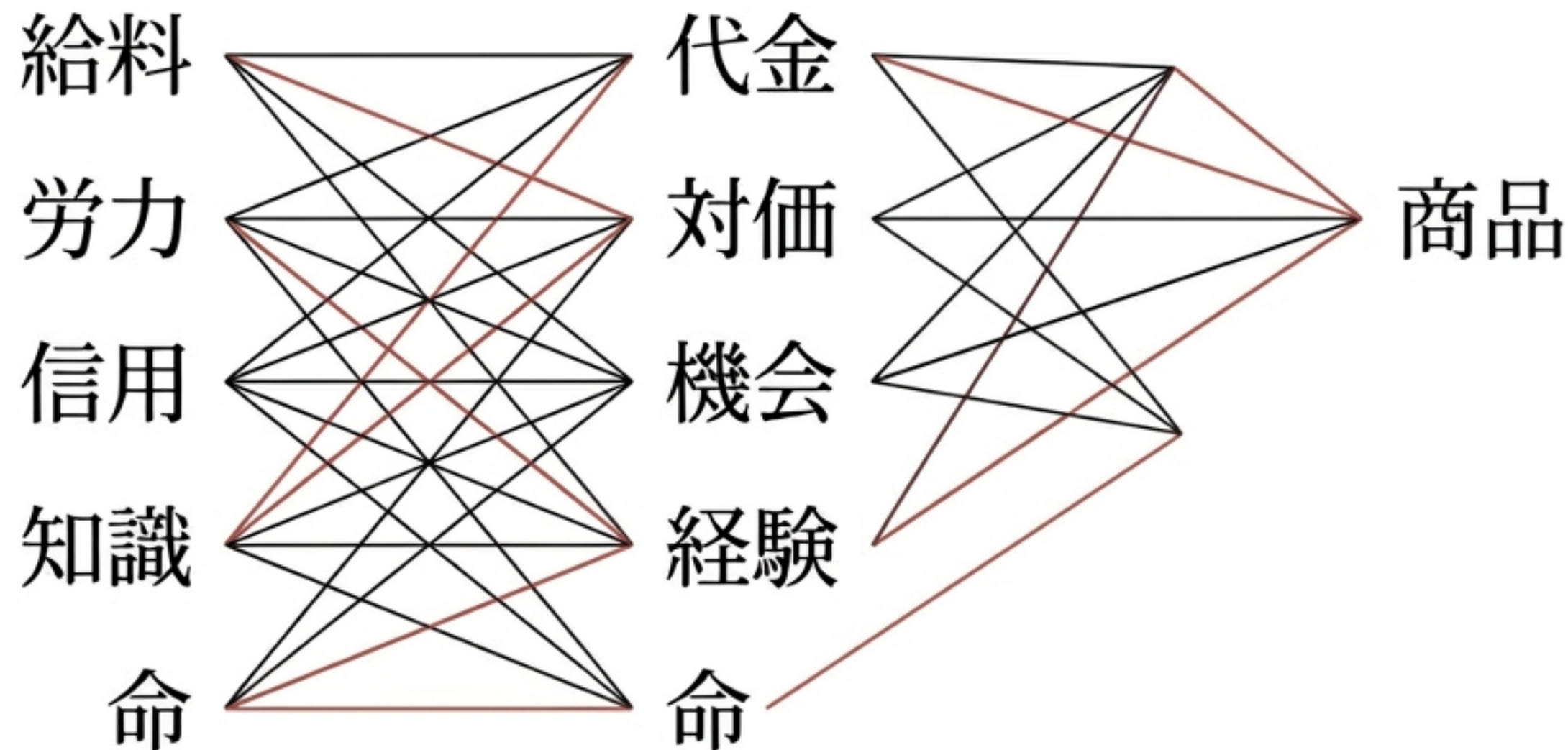
命 ↔ 命

人間社会は交換で回る

働けば給料を得る。商品を渡せば代金を得る。

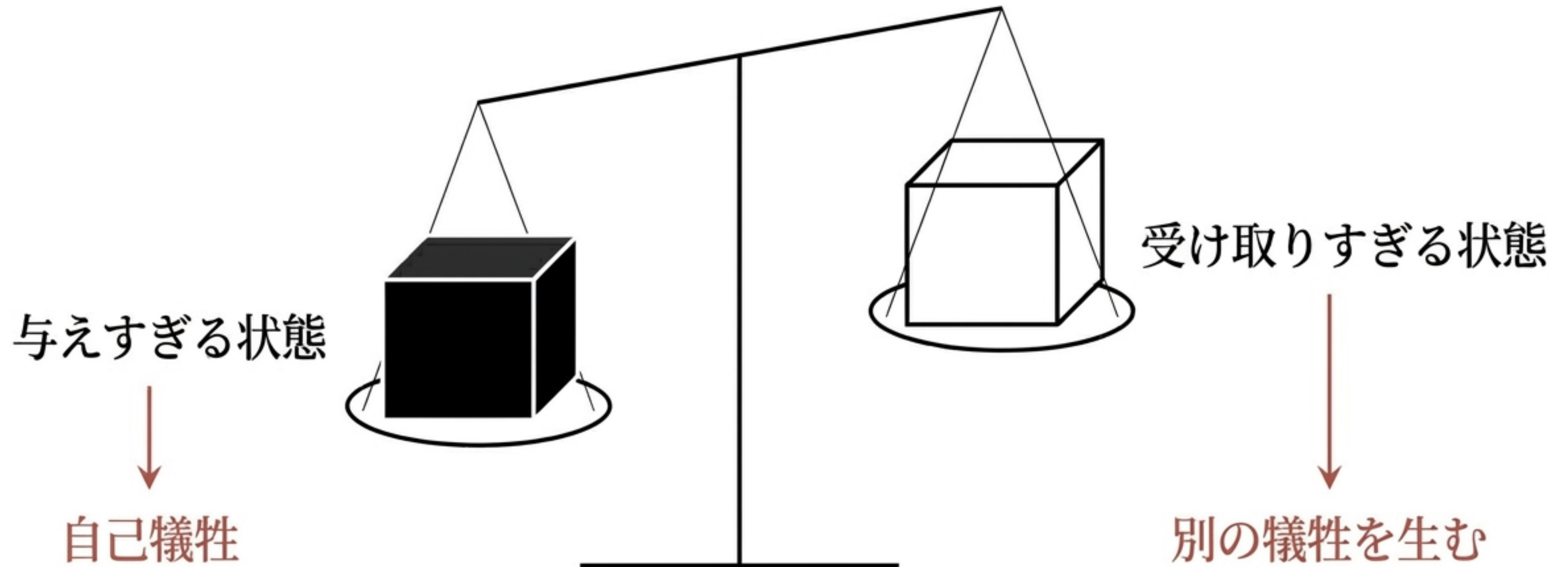
一見不公平に見えることも、長い時間軸で見ると、どこかで帳尻が合う。

これが自然の流れである。



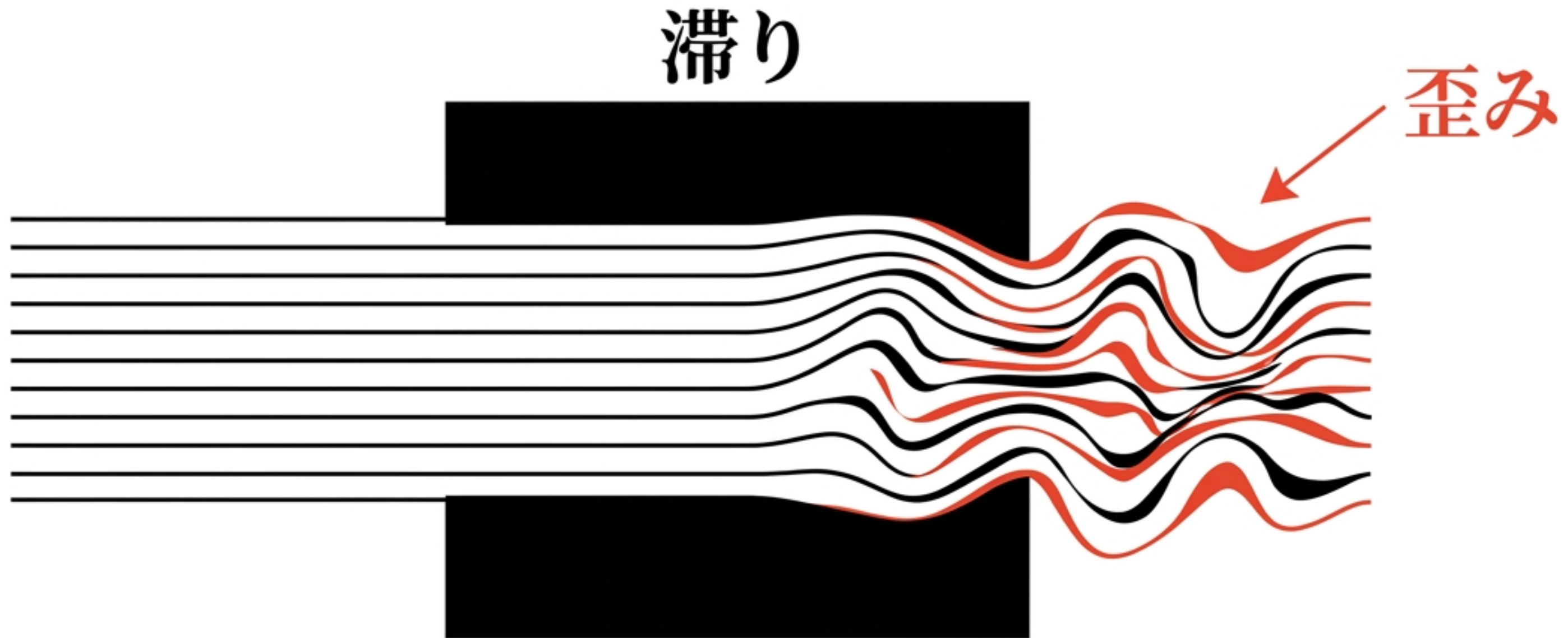
与えすぎと受け取りすぎ

どちらも短期的には成立する。しかし、長期的には続かない。



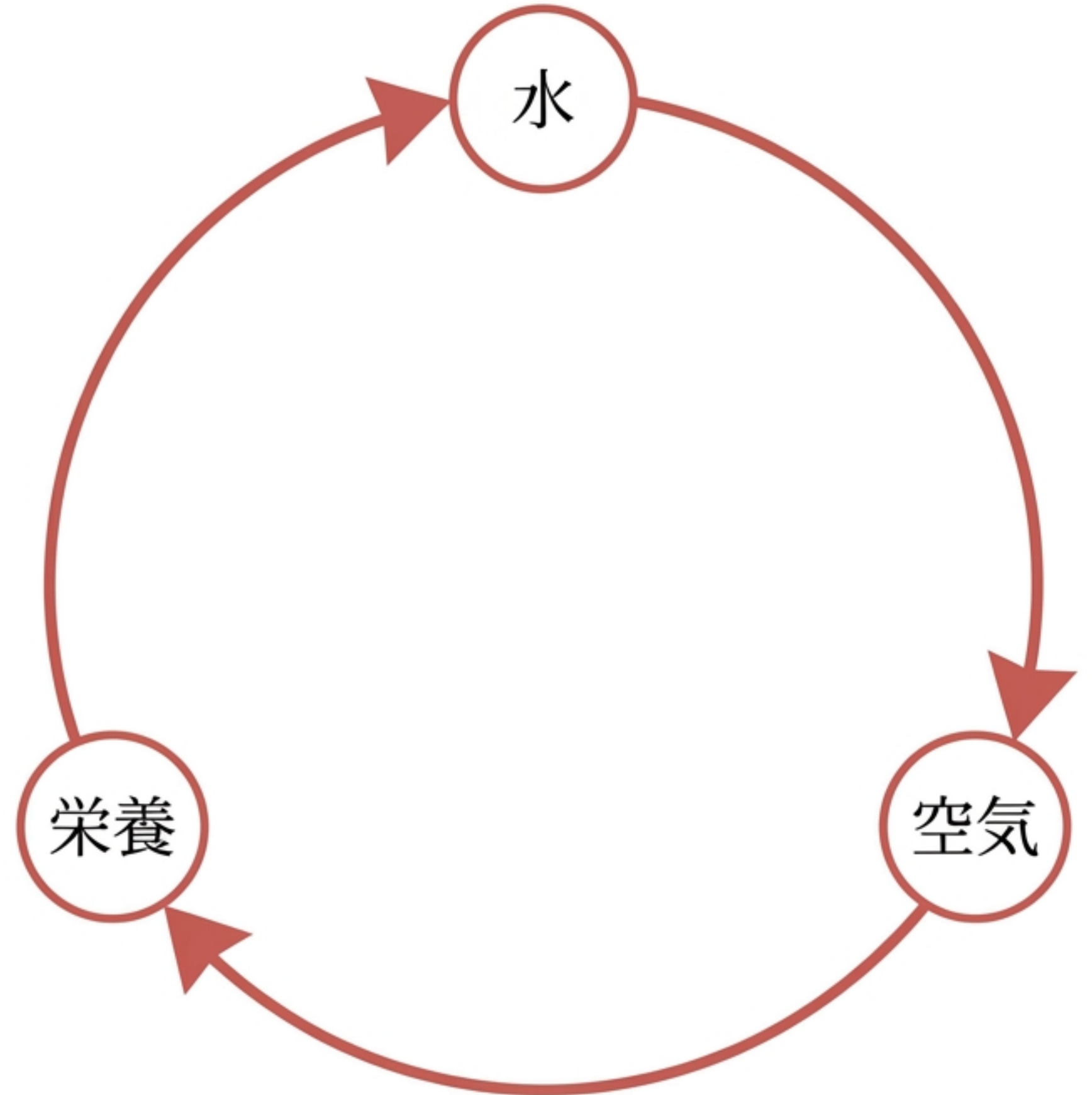
長期的な歪み

巡らないものは、どこかで滞る。そして滞りは、やがて歪みとなる。



自然界の循環

自然界において、一方的にエネルギーだけが流れ続けることはない。



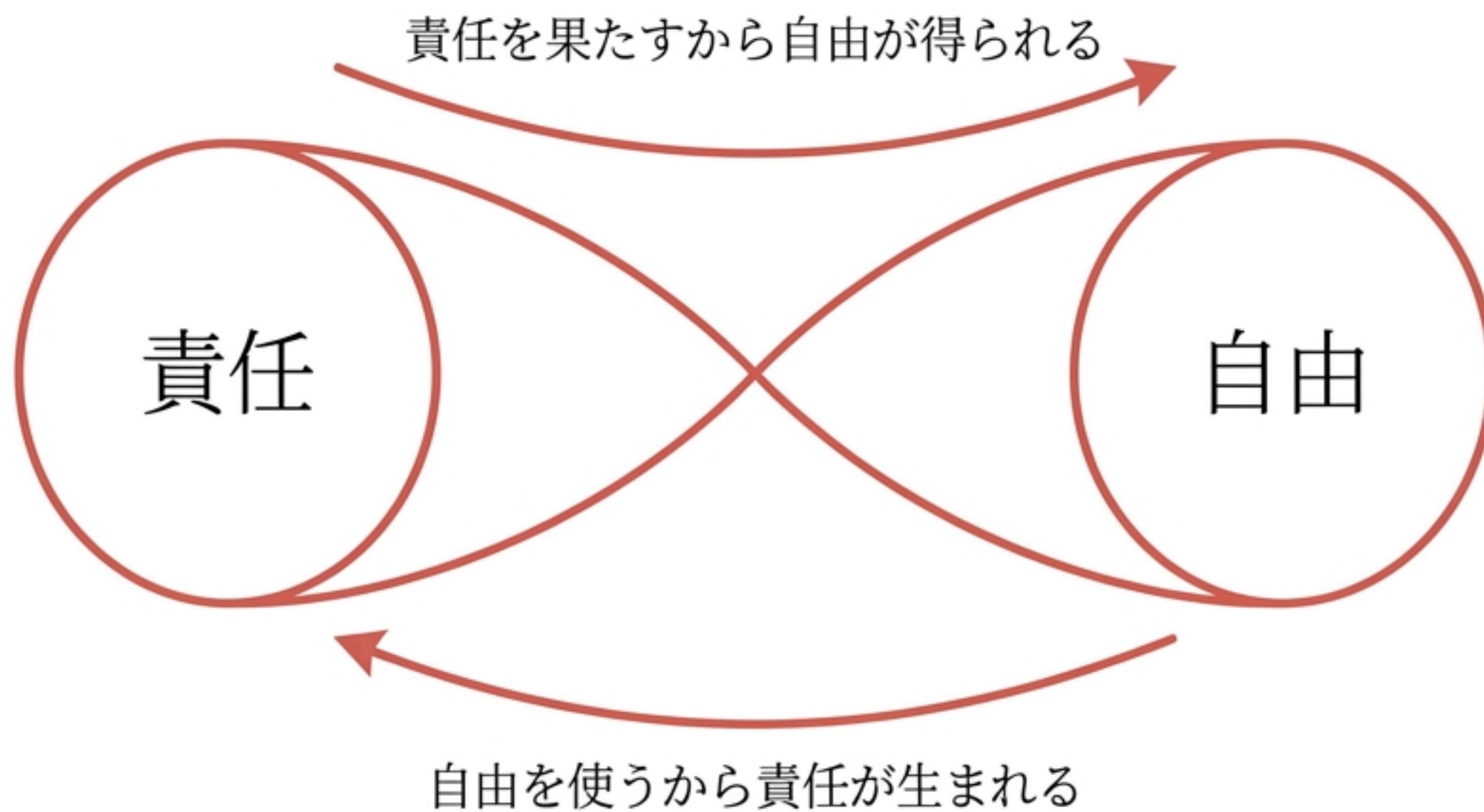
思想の対立も等価交換

守るだけでは停滞する。変えるだけでは崩壊する。どちらかが正しいのではない。相反するものの交換によって維持されている。



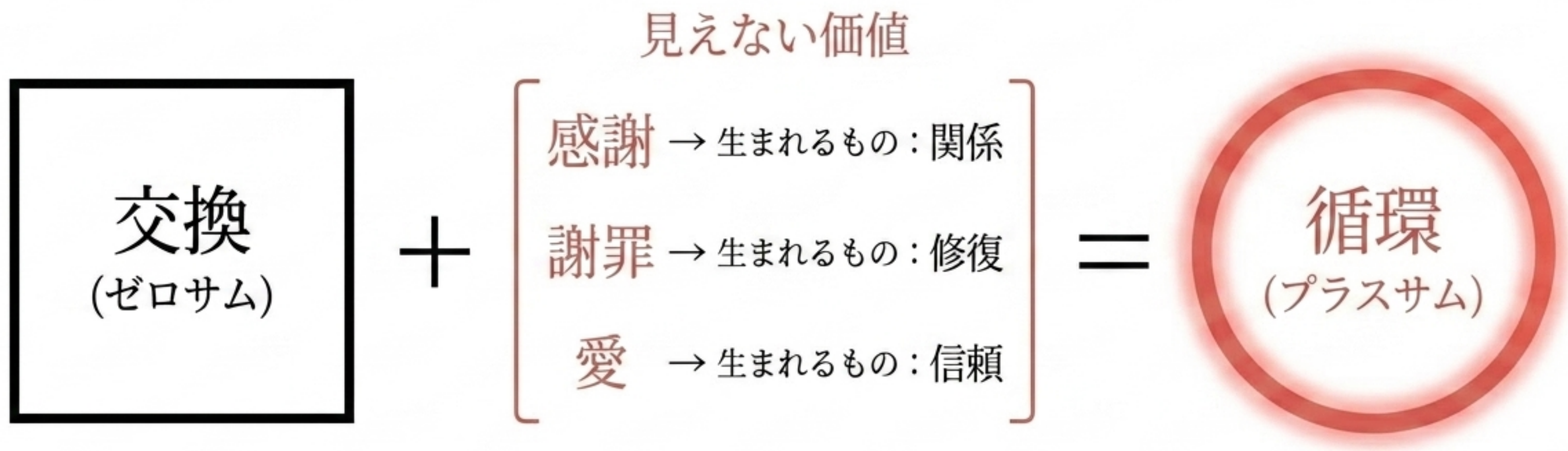
自由と責任

どちらが先かではない。循環である。



等価交換を超えるもの

等価交換だけなら、世界はゼロサムで終わる。そこに感情が加わる時、交換は循環へ変わる。



関係性は価値を増幅する

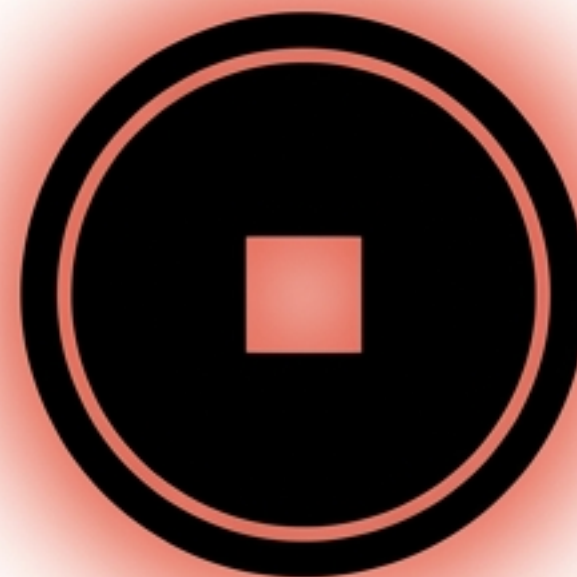
同じ100円でも、意味が違う。同じ言葉でも、重みが変わる。

知らない人



100円

大切な人



100円 + α

交換だけの世界 vs 関係性がある世界

交換だけの世界	関係性がある世界
構造：ゼロサム	構造：プラスサム
結末：渡した・受け取ったで終わる	結末：価値が増幅する
状態：交換 / 取引	状態：循環 / ご縁

価値の変容

意味を乗せることで、人間社会の美しさが生まれる。

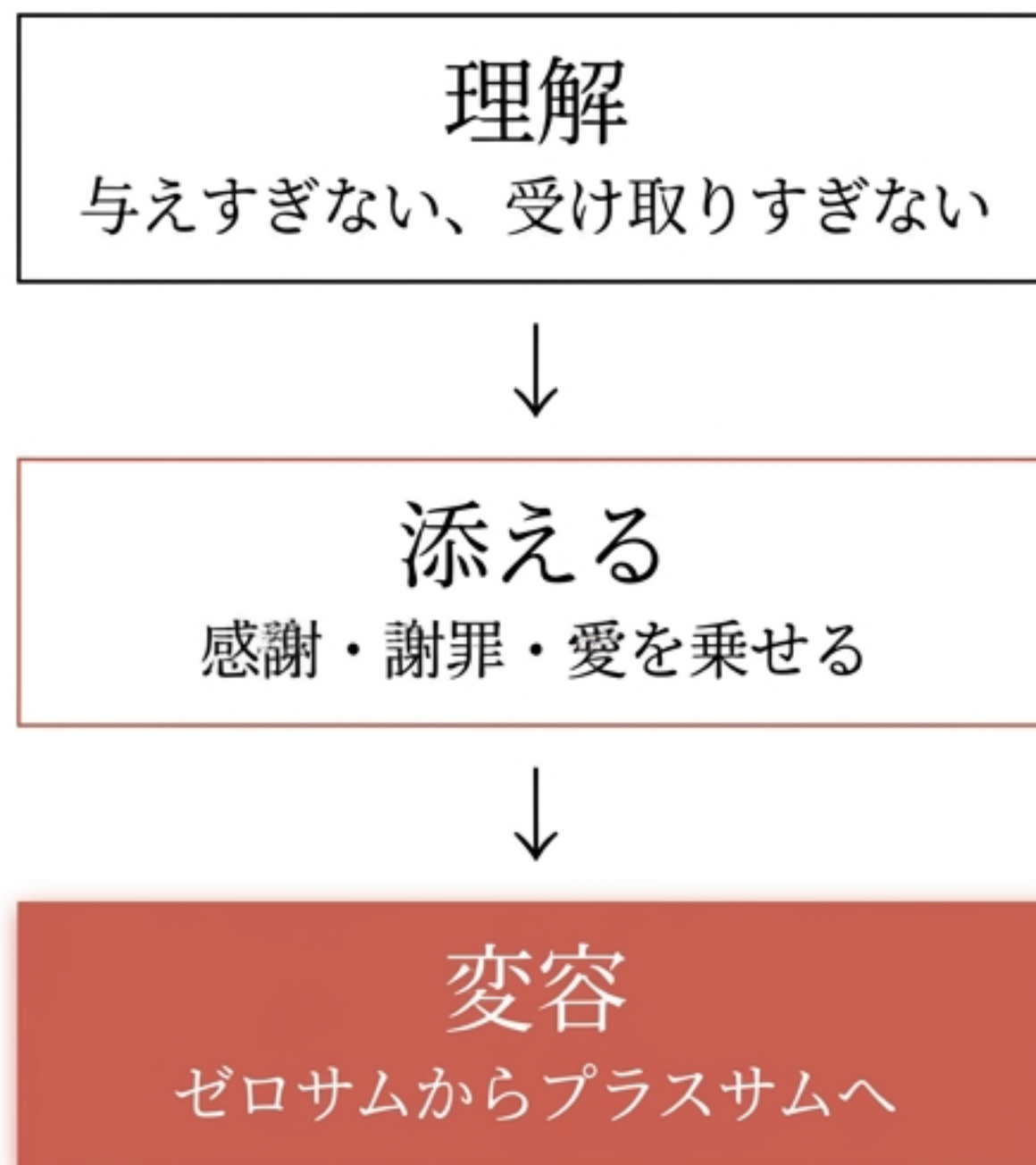
取引 → **ご縁**

交換 → **信頼**

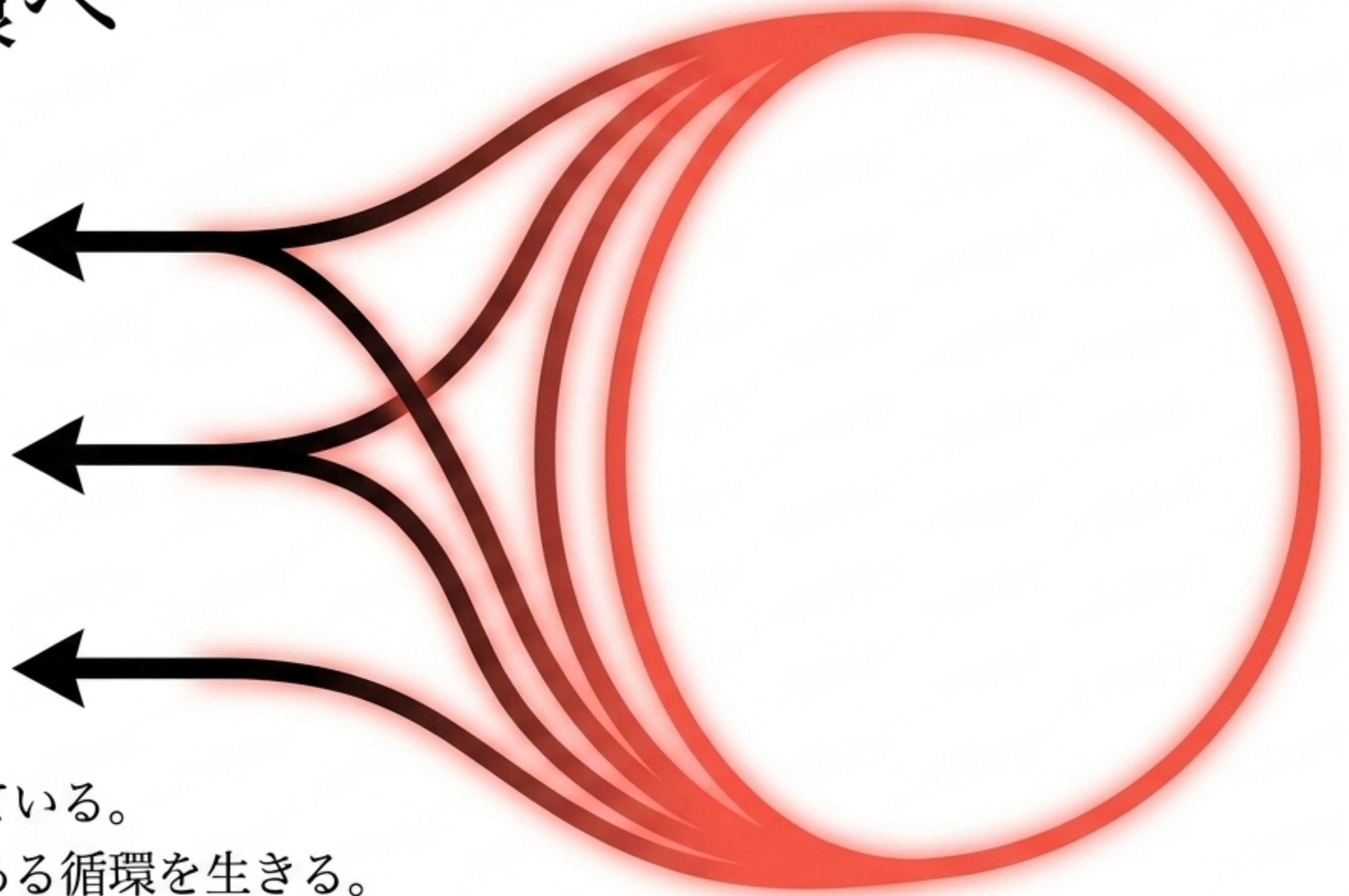
ただ生きる → **共に生きる**

TAOISM的結論

等価交換の感覚を身につけることが、成熟への第一歩である。



交換から循環へ



世の中は、等価交換でできている。
等価交換を知り、その先にある循環を生きる。
それが、人としての在り方である。